

令和4年度公立大学法人北九州市立大学評価委員会（第4回）議事要旨

1 開催日時 令和4年6月27日（月）9：30～10：45

2 開催場所 オンライン会議（北九州市役所5階プレゼンルーム）

3 出席委員（五十音順：敬称略）
井上 洋美、権頭 喜美恵、安浦 寛人、吉谷 愛

4 議事内容

（1）令和3年度に係る業務の実績に関する評価（コロナ禍の評価）について

ア 事務局から、令和3年度に係る業務の実績に関する評価（コロナ禍の評価）について説明があり、案の通りに決定した。

（2）令和3年度に係る業務の実績に関する報告について

ア 北九州市立大学から、令和3年度に係る業務の実績について報告

イ 主な質疑・意見

（委員）外部アセスメントテストを導入したとのことだが、その概要や評価について教えていただきたい。

（大学）「GPS-Academic」は、(株)ベネッセ i-キャリアが提供するアセスメントテストで、例えば「思考力」等を3項目程度に細分化して測定するもの。また、それぞれの項目が数値化されており、他大学との比較が可能となっている。

今回、ほとんどの数値は他の国公立大学と同等であったが、「協働的思考力」が低いとの結果が出ている。これらのデータを各学部でフィードバックし、今後の自己点検・評価等に生かしていきたい。

また、今回、1年生と3年生が受検しており、1年生が3年生になった時に再び受検することで、経年変化も見ることができると考えている。

（委員）留学生の受入状況はいかがか。

（大学）詳細は後ほど、資料で説明させていただく。

（委員）財務諸表における新型コロナウイルス感染症拡大の影響は。

（大学）支出については、学生に係る留学支援の費用や教員に係る国内外の出張研修費用等、約4,900万円が執行できなかった。

財産収入については約1,200万円増加しており、教室の貸出料や自販機の売上げ等が伸びている。また、外国語学部英米学科や地域創生学群の定員増に伴い授業料収入も増えており、差引きで利益が出たもの。

（委員）今後、先が見えない時代において、学生が「社会が求める人材」に育つよりも、学生自身が、どういう社会にしていきたいのかを学びながら考えていけるような大学であれば良いと思う。

（3）評価調書の記入方法について

ア 事務局から、評価調書の記入方法について説明